

発行所  
株式会社 造船ニュース社  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-7-13  
(内田ビル3階)  
TEL (03)3861-3091(代)  
FAX (03)3861-3093  
編集発行人 森 邦一  
月3回(5.15.25日)発行

# 海事特報

購読料1ヵ年 58,000円(送料込・税別)  
昭和41年8月18日 第三種郵便物認可  
振替口座 00190-1-98473

海運・造船

(禁無断転載)

みんなの力で育てよう海運・造船を

平成28年7月25日(月) 1409号

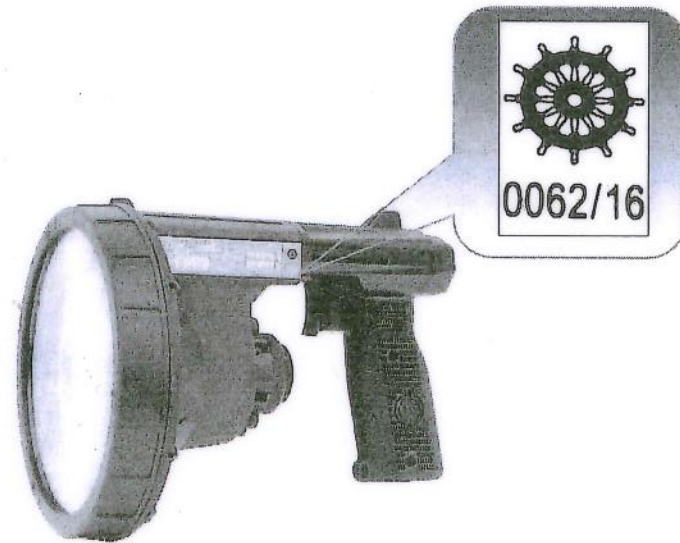
品管の製品化第1号が舵輪マークを取得

湘南工作所、携帯型LED式昼間信号灯

船舶用照明メーカーの湘南工作所(本社・東京都大田区、照沼國臣社長)はこのほど、同社が独自開発した国内初となる「携帯型LED式昼間信号灯」の特許取得(特許・第五九五八八九九号)ならびにMED(船用機器指令)CEマーキングの舵輪マークを取得したと発表した。今回の舵輪

マーク取得によって、欧州船籍への搭載が可能となったことで、グローバル市場への販路拡大が期待されている。

昼間信号灯の船舶搭載は、SOLAS条約改正で二〇〇〇年十二月に採択され、二〇〇二年七月に施行されたもので、国際一五〇総トン以上、内航五〇〇総トン以上の船舶において搭載が義務付けられている。条約改正に伴って、昼間信号灯の水槽試験が新たに導



入されるなど、試験基準が強化されたことで、従来のハロゲン球構造では試験クリアが困難となっていたことから、同社では日本船舶品質管理協会の「船用品の技術開発支援事業」(日本財団助成事業)の開発助成を受けて、独自開発したものの。品管の同支援事業は平成二十三年度からスタート、LED式昼間信号灯は同制度を利用した製品化第一号としてマイルストーン的な成果開発品としても知られる。

本製品は従来品(ハロゲン球)と比べて、LED化による長寿命、ボディの樹脂化、小型リチウムバッテリー採用による軽量化(同社比九〇%)、内部機構の簡略化による小型化(同社比一〇%)などLED化による性能向上と小型軽量化が最大の特長。ユーザー筋からは「小型化軽量化に伴って、操作感が格段に向上した」と好評を博している。

なお、同社では「今日までに二〇〇台余りを販売している」として、引き続き、国内の一般商船や防衛省、海上保安庁、消防庁などの官庁船向けなどに営業活動を積極展開させる一方、全世界からのさまざまなユーザーニーズに対応出来る製品づくりに傾注する方針としている。